



## 翠巒会のみなさまへ

### ごあいさつ



翠巒会会長  
猿丸 宏子

翠巒会会員の皆様にはお変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。平素より同窓会活動にご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。昨年より流行しております新型コロナウイルス感染症の為、何かと戸惑う事の多い世の中でございますが、一日も早い終息を願う日々でございます。昨年、同窓会総会や幹事会等、予定しておりました行事は、皆様の安全を考慮し中止させて頂きました。今年も幹事の皆様方のご意見を参考にさせて頂き、同窓会総会を誠に残念でございますが、来年に延期させて頂くことに致しました。楽しみにお待ちしております皆様には心よりお詫び申し上げます。会報は大勢の方々の協力のもと発行させて頂く事と致しました。お手元に届きましたら最近の学園の様子も掲載しておりますので是非ごらんください。来年こそは皆様方とお会い出来ます事を楽しみにしております。昭和16年高等女学校一期生の宮重万寿子様が初代の翠巒会会長に就任されて以来、戦後は一時中断する時期もあったようですが、先輩方のご協力のお陰で、ここまで80年続いている翠巒会を今後も後輩の方々が引き継いで繋げていって下さる事を心より祈念しご挨拶とさせていただきます。



芦屋学園  
中学・高等学校長  
石川 宗孝

翠巒会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。私は、昨年度より中学・高校の校長に就任しました石川と申します。大学で専門である環境工学の教鞭と研究に携わっていました。中学・高校の校長は初めての経験ですが、皆様のご支援を受けながら、任務を全うする所存でございますので、宜しくお願い致します。さて、前年度は、新型コロナウイルス感染症により、学校での教育活動は、規模の縮小や内容の変更など、苦勞しながらも取り組んできました。本年度も生徒が安全に安心した学校生活が送れるように努力しております。当面は、感染症対策を万全にして、慎重に教育活動を進めてまいります。さて、新年度から、本校にも新しい時代へと向かうべく新たにICT教育を活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取り組みを始めています。それぞれの教科をさらに効率的に教えられるよう、新入生には、一人一台のタブレットを配備し、それを効果的に活用することで授業改善を加速していきます。今後、全校生に配備し、伝統ある本校の教育改革に繋がるものと確信しています。これも、翠巒会の皆様による多大なる学園寄付金の御陰でもあります。ありがとうございます。最後になりましたが、皆様のご健勝と翠巒会のご発展をお祈り申し上げますとともに、今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 翠巒会総会

◆平成30年11月11日(日)

神戸ポートピアホテルにて開催いたしました。神戸での開催は何十年ぶりでしたが沢山の参加者があり懐かしい同窓生とお会い出来、喜んで頂きました。ホテル側もよくしてもらい、次回の総会もこのホテルにとお願いをしておりましたが、コロナ禍の為、昨年に続き今年も叶いませんでした。来年こそは是非、開催出来ます様に祈っております。



芦屋女学校 校歌



晴れわたる日に照り匂ふ おのずからなる 海の色  
みうたにこたえまつらむと 心も澄て うつくしく  
かがみのうつす姿さへ 倦まずたゆまず 磨かなむ

翠巒会総会は来年秋頃に「神戸ポートピアホテル」にて開催予定をしております。コロナ禍が収まり懐かしい恩師・ご友人と出会える機会です。是非ご出席下さい。

### 翠巒会入会式

◆令和3年2月19日(金)

今年はコロナウイルスの影響で入会式には少数役員で出席し生徒の皆様も間隔を開けて並ばれていて昨年までの雰囲気とは違いましたが無事に入会式を行いました。290名のフレッシュな卒業生が翠巒会に仲間入りして下さいました。会長より



恒例になりました入会記念の袱紗を贈呈致しました。金封は古来より袱紗に包んで持参するのがマナーで慶弔どちらにでも使える紫色にしております。礼儀作法を重んじ社会に一步進んで行かれます事を望んでおります。

# 80周年記念 芦屋学園の思い出



故 三宅泰輔先生 (画)

## 高女4期生 廣瀬忠子さん (旧姓:山田)

◆昭和15年(1940年)4月入学

赤い屋根、白い校舎は満開の桜に包まれ我々250名は芦屋高等女学校の4期生として入学しました。クラスは「いろはにほ」の5組で楽しい学園生活が始まりました。夏には校外学習で香炉園浜から芦屋浜までの遠泳。太鼓の「どーん、どーん」という合図に励まされて無事泳ぎ切りました。しかし翌年第二次世界大戦が勃発して敵国の言葉なので英語の授業は無くなり、体育は袴をはいて薙刀の実習に変わりました。徐々に戦況は悪化し通学バスは燃料や人材不足で徒歩通学になりました。広がってぺちやくちやお喋りをしながら歩くので、いつも先生に怒られながらも楽しい登下校でした。また何とか行くことの出来た修学旅行で奈良の旅館に泊まりました。電球には黒い布が掛けられていましたが、おぼけごっこや枕投げをしてはしゃぎました。5年生になり益々戦況が激化し、女学生の我々も学徒動員として、鳴尾にあった川西航空機の工場に通うことになりました。セーラー服にモンペを履いて私は「紫電改」という戦闘機の尾翼を作っていました。そしてなかなか学校に行くことが叶わぬまま卒業式を迎え、卒業証明書は用紙が焼失し急ごしらえのガリ版刷りでした。その年の夏に終戦を迎え、暫く後に学校から改めて立派な卒業証書を頂き、皆笑顔で卒業写真に納まりました。入学の時12歳だった私は今年94歳になりました。今でも同級生達と学校時代の思い出話をします。戦争中の苦労もありましたが、この年になっても十代の頃の私たちに戻りウキウキと楽しい気分になります。学生時代と一緒に過ごした仲間っていつまで経ってもいいですね。



2012年 名古屋支部のつどい

## 高女8期生 西本綾子さん (旧姓:石本)

◆翠巒会祝80周年記念

廣瀬前会長のもと数十年役員として活動させて頂きました。私は昭和18年に入学し芦屋女子高等学校最後の学年でした。上級生は全員学徒動員で軍需工場行かれました。下級生の私達は運動場をさつま芋畑にし、そして山林の間には芋畑を作りました。体操の授業はエイッヤー、エイッヤーと長刀を持って体を鍛えていました。校舎は軍需用品の倉庫となり芦屋の街は阪神間の大空襲4回(5月11日・6月5日・8月5日・8月6日)で焼け野原の惨状でした。そして8月15日終戦となりました。76年前の出来事で知らない方が多数おられると思い書き留めました。時代は変わり今、母校の益々の発展と翠巒会の益々の発展を祈り、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念しご挨拶いたします。



## 高校3期生 見持照子さん(旧姓:馬場)

◆芦屋学園

私は昭和20年4月に入学しました。丁度太平洋戦争末期で空襲などがあり大変な時代でした。私は体が弱かったのですが、バスもなく歩いて通ったので身体も丈夫になりました。その頃兵隊さんが学校を宿舎としていました。上級生は軍需工場に働きに行っておられました。そして終戦となりました。2学期が始まり、上級生へのお礼の会で演劇会が開かれることになり、私は王の役で後に宝塚歌劇の生徒となられる寿美花代さんが下男の役として出演しました。11月の夕方、学校が火事になりました。軍が当時使用していましたが、漏電の為出火したという事でした。美しい作法室も焼け落ち、最初は西宮にあったうさぎ小屋で勉強が始まりました。その後、運動場に仮校舎が建てられ、室内体育館も建ちました。その頃転入してこられた吉川さんとハードルの練習をしておりましたが、私はその後テニス部に移りました。吉川さんはオリンピックの選手に選ばれ、芦屋市の市役所で壮行会が開かれました。オリンピックに参加する時、預けたスパイクの入った荷物が紛失し大変困られたという話を後に聞きました。私達の学年は年を経ても連絡しあい国内はもちろん海外旅行をしたり同窓会の総会にも多数出席し、今でも電話で現況を話し合ったりったりしております。



## 高校8期生 籠池治子さん(旧姓:谷矢)

### ◆六麓荘礼讃 祝翠巒会発足 80周年

昭和 25 年春、満開の桜を迎えられて中学部に入学。高等部では生徒数も倍が増えて楽しい学園生活を送りました。卒業 50 周年の秋に各組の有志で記念の学年会を企画して頂き、三ノ宮に亀頭先生をお招きして東は関東、南は九州から 50 名が参集しました。懐かしい面々と旧交を温めました。これを機に旅行好きの友達の誘いを受けて東西在住者十数名が名古屋駅で合流して世界遺産の白川郷等を巡り思い出作りも出来ました。そして東京支部の「あしの葉会」は最近まで年に一度、数十名が集まっていました。8期は出席者も多く先輩方は品格が高く優しく大変充実した集まりでした。「人生 100 年時代」だそうです。私達はすでに八十路を歩き始めております。いつ迄友人と行動を共に出来るか、コロナ禍で会えなくても文通やメールで交流を絶やさぬよう心がけ励まし合っていきましょう。



## 高校15期生 東山照子さん

### ◆セーラー服に憧れて入学した芦屋学園

今年 76 歳になりました。桜の木に囲まれた環境の良い学校で他の学校にない女性としての礼儀作法や社交ダンスを教えてもらいました。令和元年 11 月に同期会を開きました。卒業の時のクラスごとにお世話役が決められていたので 6 組の人達 34 名集まりました。懐かしい友に逢えて皆さんお話を夢中で賑やかな同窓会が出来ました。卒業して毎年していた同期会も年を取るごとに 2 年に一度になり 4 年に一度になり 72 歳を迎えもう最後と思っていましたが、参加者の人達から「また会いたいから同期会して下さい」と言われ学生時代の友達って良いなと思いました。私も高校時代のお友達と旅行や食事に行ったりして今もお付き合いしています。芦女の卒業生ばかりのコーラスグループに参加させてもらい先輩や後輩と一緒に声を合わせ歌っています。歌よりおしゃべりが楽しい会でした。(今はコロナで会えませんが早く皆さんにお逢いしたいです)



## 高校21期生 岡橋順子さん(旧姓:南)

### ◆芦屋学園で頂いた宝物

桜色の中に建つ古い 2 階建ての木造校舎。石段の上の講堂、美しい古い日本映画を見る様に、情緒溢れる学び舎を思い出すのは私だけではないと思います。60 年程前、この学園に入学した私は崑しくて胸弾ませておりました。そしてクラブは「ESS 部」を選びました。一年を通してのクラブ活動のハイライトは文化祭に演じる英語劇でした。皆さんに楽しんで頂ける題目を選び、配役を決め、セリフの正しい発音から練習するのですが、その他にも衣装の相談、本格的な舞台の大道具・小道具にも力が入り、文化祭までに 4 ヶ月ほど費やしたと思います。大変な日々でしたが、当日の成功に皆胸を撫でおろしました。そんな訳で私の次を受けてくれる後輩を選ぶのにも苦労しましたが、それを引き受けてくれたのが 1 年下の後輩でした。彼女とは今も深いお付き合いが続いています。そしてもう一人、同学年であり共にクラブを過ごし、今に至るまで相談に乗りあい愚痴りあって 60 年を過ごして来た大切な友人がいます。お互いを包み隠さず話す事が出来、辛い時も笑いに変わってこられました。今はいつまで元気でこうしてお喋り出来るかしらね...と話しておりますが、こんな長い素晴らしい御縁を頂きました事が、芦屋学園で頂いた私の人生の宝物です。心より深く感謝致しております。あとになりましたが。創立 80 周年、心よりお祝い申し上げますと共に、これからの若い方達にも学園生活の中で、大切な友との御縁と巡り合われます事を心より願っております。



## 高校31期生 平野眞弓さん(旧姓:平野)

### ◆別荘地のような学び舎

初めて芦屋女子中学校に行った時、自然と調和し、門が無く桜の木がたくさんあり、穏やかな時間が流れていました。この環境のもと、学習以外に先生方や上級生から礼儀作法や相手を敬う気持ちを教わりました。厳しさだけでなく常に信頼感がありましたが、本当に怖い存在でした。ある男性の先生が「おっかないな」と仰った時に思わず笑って、ほっとした事を今も鮮明に覚えています。中高 6 年間は大変有意義で思い出深いものばかりですが、その中で特に印象に残っていることが二つあります。一つは生徒会活動です。中三の後半から高三まで所属する中で、行事の入念な準備の大切さを学び、人間性も学習やクラブ活動も万能な上級生が目標となりました。もう一つはスキー実習です。6 回参加しましたが、毎年とても楽しみで、白銀の世界で友人や先生方とスキーというスポーツの技術の習得はもちろんですが、ホテルステイや夜行列車など全てが実に愉快でした。このように芦女での人との出会いや経験のすべてが私にとって宝物であり、心を豊かにしてくれています。そして、母校が良き伝統を継承し、ますます発展します事を心から願っております。

## 高校36期生 坂本久仁子さん(旧姓:吉崎)

### ◆一番の思い出はクラブ活動

私の学生生活で一番に思い出されるのは中学一年生から6年間のクラブ活動です。テニス部に入部し毎日授業終了の鐘が鳴り終えた瞬間にテニスラケットを抱えて学校から少し離れたテニスコートまで一目散に駆けて行った事です。テニスコートの周りに急な坂道があり、トレーニングの一貫として何往復もその坂道を走り、かなりハードだった事は今でも忘れません。当時学園のテニスコートは今では珍しいアンツーカーコート(赤土)でした。重たいローラーを二人がかりで曳いたり大きなブラシでコート内をくるくる周ってコート整備をしていました。真っ白いテニスウェアやシューズが赤く染まる事も度々でした。夏合宿の頃には前も後ろ姿も一瞬わからなくなるくらい真っ黒に日焼けして、暑さで倒れそうになる事もありました。辛かった時も楽しかった時も共に頑張っていて過ごした仲間や先輩方、後輩達は今でもかけがえの無い存在です。皆さんどうされているか懐かしい思い出でいっぱいです。なかなか同窓会も出来ないまま月日が過ぎてしまいました。テニス部の方々も是非翠巒会の総会に参加頂ければ嬉しく思います。



## 高校50期生 市川和恵さん(旧姓:安田)

### ◆芦女音頭の浴衣

このお話をいただいてから高校の家庭科で浴衣を制作した時の事を思い出しました。反物から浴衣を制作する過程で背縫いの運針がまっすぐきれいに進まずやっとの思いで縫い上げて、その横をもう一本と分かった時の絶望。袖の丸みをきれいにし出す為にぐし縫いをし型をあてて引っ張る。なかなか上手くいかずに一苦勞。襟が寄っていない様に中に入れながらまつり縫い。しかし、浴衣が完成しないと三年生になった時、芦女音頭を踊る事が出来ないので一生懸命作り直しました。その授業で浴衣の着付けや、たたみ方まで習いました。着付けも一人ではなかなか上手く着ることが出来ず、友達とペアになって帯を締め、最近の浴衣の帯とは違い、赤い長い布を二枚縫っただけの帯だったので、ふにゃふにゃで縫い難くなかなか上手くいきませんでした。たたみ方では、襟が上手に直せず、きれいな長方形にならないので困りましたが、この時覚えたことが、今でも役に立っています。私が職員として戻ったときには自分で作る授業はなくなりましたが芦女音頭は続いており、今度は私が裾上げや着付け・たたみ方を教える立場になりました。自分が生徒だった時と同様、三年生になったら浴衣を着る事を楽しみにして、綺麗に着る為に生徒たちは楽しんで学んでいます。コロナ禍で出来ない事が多くありましたがまた浴衣の着付け等が教えられる日が早く訪れます様に願っております。



2019年 体育祭 芦女音頭

## 高校62期生 市田 響さん

### ◆私と芦屋学園

翠巒会 80周年記念に寄せてお祝い申し上げる。自らにとって学園で過ごした3年間は人生の分岐点と言え、大きな影響を受けた。白を基調とした美しい学び舎が印象的で今でも脳裏に浮かぶことがある。思えば当時の学園は『人それぞれに』を大切に作る気風があった。部活は美術部に所属していたが、剣道部やバスケット部を中退した者や囲碁部と掛け持ちする者たちが部室に集まってきており、懐の深い雰囲気があり、多様な個性のメンバーに恵まれた。第42回芦屋学園祭では冊子『東雲』を制作し、絵をたくさんの部員に寄稿して貰い発表をしたのが思い出深い。部員達は現代美術、映像、音楽などの芸術方面をはじめ、牧師や起業家など幅広い分野で活躍をしている。コロナ禍で苦境が続く観光業界に就職した者もいました。フォーシーズンズホテル京都で勤務する友人とは今でも親しい。私は絵の描かない部員だったが当時の顧問に「君は変わり者の美術部員達をまとめる能力がある。此処に居ても良いよ」と言われ、その言葉が社会福祉の仕事への接近と『天職に生きる』ことに続く後押しになっていた。翠巒会と学園の益々の発展をお祈りする。



## 高校73期生 鍋島愛翔さん

### ◆芦女音頭 踊りたかった

私は芦屋学園を卒業して沢山の思い出が出来ました。中学生の頃にはたくさんの先生方に助けてもらい感謝の気持ちでいっぱいでした。そして高等学校に入学できました。特に高校生活では一番の思い出が出来ました。国際科に入り沢山の友達が出来個性豊かで楽しく面白い仲の良いクラスでした。学校に行くのがとても楽しかったです。高校一年生では台湾研修に行き現地の生徒と交流をしたり、街を観光したりしました。高校二年生ではカナダへ1ヵ月留学し最初はとても不安で仕方ありませんでしたが、ホストファミリーが優しく出迎えてくれて英語力も付き環境の違いで素晴らしいものをたくさん得る事が出来ました。言葉に表せないくらい楽しかったのも、また行きたいと思えました。高校三年生はコロナ禍で体育祭、文化祭が無くなったのが何より悲しかったです。私は高校三年生になると踊る芦女音頭が出来なくてすごく残念でした。中学生の頃からずっと先輩の姿を見てきてそれが最後の閉めと思っていたので踊りたかったです。でもコロナ禍でより友情が深くなりました。高校三年生では思うように過ごせませんでした。6年間で沢山の経験が出来ました。



## 翠巒会コーラス部「フューゲルコール」



### ◆楽しい集いのコーラス

翠巒会コーラス部「フューゲルコール」は2008年に創部されて早15年目になります。母校の学舎で楽しく集い、活動できるようにと、芦屋学園の協力を得てピアノと空いている教室をお借りする事が出来ました。指揮とご指導頂く先生は、卒業生の多くの憧れの的でした立柳先生にお願いしたところ、二つ返事で、快諾頂きました。コーラスの部のグループ名の「フューゲルコール」は立柳先生の命名で、ドイツ語で「山の歌声」と言う意味だそうです。約30名のメンバーが、月に二回、懐かしい学舎に集い、乙女に戻り？立柳先生のご指導の元、発声練習から始まり最初は二部合唱からでしたが、三部合唱の大曲が出来る様になるまでになりました。芦屋学園文化祭や芦屋ルナホールでの合唱祭、翠巒会総会にも出演させて頂きました。素晴らしい立柳先生のご指導の賜物と私たちコーラスのメンバーは、感謝するばかりでした。立柳先生は、80歳過ぎても年齢を感じさせないダンディーさで大病もされましたが、すぐに復帰され若々しくお元気でご指導下さいました。しかし2020年4月21日85歳で惜しくもお亡くなりになりました。亡くなられるまでコーラスの楽譜を手直しされたり、メールで「声を揃える事を大切に」とご指導下さいました。立柳先生は今も空の上で、ダンディーに口笛を吹きなが歩いていらっしゃる様な気がします。音楽とコーラスを愛し、私たち芦屋学園の生徒に深い愛情を注いで下さいました立柳先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。コロナ禍の中、なかなか練習も出来ず、悔しい思いもありますが、まずは皆様のご健康と安心安全を第一に考えて、近い将来また、楽しく集いコーラスができる事を心からお祈りしています。



“年齢は問いません” ご興味のあるお方は是非ご参加下さい。入部ご希望の方はまずお電話を！06-6885-3028（平田）まで

## 芦屋学園のあゆみ

- 1936年(昭和11年) 芦屋高等女学校設立
- 1941年(昭和16年) 芦屋学園同窓会翠巒会発足
- 1947年(昭和22年) 芦屋女子高等学校・中学校発足
- 1960年(昭和35年) 芦屋女子短期大学開学
- 1964年(昭和39年) 芦屋大学創立
- 1978年(昭和53年) 野外活動センター開場
- 1985年(昭和60年) 高等学校国際文化科設立
- 1986年(昭和61年) 芦屋大学附属高等学校・中学校に改称
- 1993年(平成5年) 中学校国際文化科進学クラス設置
- 2003年(平成15年) テニスコート・野外活動センター改修
- 2004年(平成16年) 三田・岡場方面より学園バス運行開始
- 2009年(平成21年) 芦屋学園高等学校・中学校に改称
- 2016年(平成28年) 芦屋学園グランド竣工

## 受賞のお知らせ

### ◆斬新な水墨画

同窓会の東京支部長(あしの葉会)の柳恵子様(高校18期)が水墨画で受賞されました。第49回日本水墨画秀作展において神奈川新聞社賞(風の詩)第53回日本水墨画秀作展において信濃毎日新聞社賞(夢路)ほんとうにおめでとございます。長年の精進の賜物と思います。水墨画というと山水画のイメージですが、全く違った素晴らしい作品で感動致しました。ここにご披露させて頂きます。今後益々のご活躍をお祈りしています。



第49回全日本水墨画秀作展  
神奈川新聞社賞「風の詩」

第53回全日本水墨画秀作展  
信濃毎日新聞社賞「夢路」



## 東京支部「あしの葉会」

### ◆若い方の入会を希望

あしの葉会では、高女1期～高校41期までの30～40名の方々との出席で開催しております。もちろん若い方の入会も望んでおります。関東にお住まいの方、ぜひご連絡ください。今年も集まりを中止しましたが、来年こそは皆様にお会い出来ることと思います。芦屋学園の80年前の話や太平洋戦争で立派だった講堂が焼かれ残念だった話の中に天井が特に素晴らしい芸術作品だったそうです。戦争中の話で酒蔵が焼かれリヤカーでお酒をもらいに行った等、まだまだ元気な先輩の楽しい話など、ワイワイと時を過ごせる会となっております。芦屋学園も100周年先も元気に続いて今後とも益々立派な学校になれることを願っています。

## 支部だより

### ◆東京支部(あしの葉会)総会

- ◎次回の「あしの葉会」総会は未定です。
- ◎入会ご希望の方は下記までご連絡下さい。

東京支部 支部長 柳 恵子(18期)

☎ 045-593-2744 keiyanagi.4588@docomo.ne.jp

神川良子 090-8109-1227 / 大橋恭子 090-5893-4413

## 翠巒会入会案内

29期～58期までの卒業生でまだ入会されていないご友人がおられましたら是非お誘い下さい。入会は芦屋学園中学校・高等学校事務局までお知らせ下さい。

☎ 0797-31-0666(代)



# 主な大学・短大合格実績(令和2年度)

声屋大学	58	大阪行岡医療大学	1
奈良教育大学	1	神戸国際大学	5
上智大学	2	神戸芸術工科大学	1
法政大学	1	大手前大学	5
関西学院大学	1	関西国際大学	5
関西大学	2	甲南女子大学	1
同志社大学	1	武庫川女子大学	1
立命館大学	3(1)	園田学園女子大学	1
立命館アジア太平洋大学	1	神戸松蔭女子学院大学	1
京都産業大学	1(1)	神戸海星女子学院大学	2
近畿大学	6	神戸親和女子大学	2
甲南大学	1	梅花女子大学	3
龍谷大学	1	帝塚山大学	1
摂南大学	2(1)	京都精華大学	1
神戸学院大学	8(1)	天理大学	1
追手門学院大学	3	國學院大学	1
関西外国語大学	4	東洋大学	1
京都外国語大学	6	新潟医療福祉大学	1
大阪経済大学	1	松本歯科大学	1
阪南大学	1	愛知文教大学	1
流通科学大学	10	岡山理科大学	1
大阪学院大学	9	四天王寺大学	1
大阪商業大学	7	関西福祉科学大学	1
大阪産業大学	9(6)	環太平洋大学	1
大阪電気通信大学	4	関西看護医療大学	1
大阪体育大学	3	羽衣国際大学	1
大阪人間科学大学	2	宝塚医療大学	2
大阪芸術大学	6	宝塚大学	1
大阪成蹊大学	1	姫路大学	1
大阪青山大学	1	(韓国)国立木浦海洋大学校	1
関西外国語大学短期大学部	3	大阪国際大学短期大学部	1
大阪芸術大学短期大学部	1	湊川短期大学	1
大手前短期大学	1	産業技術短期大学	1
大阪成蹊短期大学	1	関西女子短期大学	1
神戸教育短大	1	( )は過年度生	

# 会計報告

## 令和2年度翠鸞会収支報告書

科目	令和2年度予算額	令和2年度決算額	備考
前年度繰越金	4,155,571	4,155,571	
同窓会費	2,950,000	2,900,000	令和2年度卒業生290名
雑収入	0	0	
受取利息	1,500	1,515	各銀行普通定期預金の利息
収入の部計	7,107,071	7,057,086	

科目	令和2年度予算額	令和2年度決算額	備考
①運営費計(内訳)	940,000	752,943	
手数料	25,000	22,000	貸金庫・振込手数料
印刷費	10,000	3,200	役員会資料コピー
会合費	25,000	7,909	役員会
事務用品費	5,000	0	
通信費	20,000	13,419	幹事会中止案内状発送費
雑費	20,000	0	
交通費	120,000	26,800	役員会出席交通費
助成金	75,000	75,000	東京支部助成金
出張費	0	0	
記念品	590,000	580,140	令和2年度卒業生へ祝辞
慶弔費	50,000	24,475	高等学校卒業式 お花代
総会費	0	0	
会報発行費	0	0	
②財政基金へ移行	1,500,000	1,500,000	
③次期繰越金	4,667,071	4,804,143	三井住友銀行普通預金口座
支出の部計(①+②+③)	7,107,071	7,057,086	

## 令和2年度財政基金明細書

摘要	平成31年・令和元年度 よりの繰越	令和2年度定期預金へ	令和2年度定期預金計
三井住友銀行	10,390,000	0	10,390,000
三菱UFJ信託銀行	8,500,000	1,500,000	10,000,000
財政基金計	18,890,000	1,500,000	20,390,000

## 令和2年度監査報告

令和2年度決算の会計監査の結果適正に行われている事を承認致しました。  
令和3年7月30日

会計監査 竹内良子  
会計監査 新町光栄

詳細をお知りになりたい方は、  
直接下記にお問合わせ下さい。  
会計担当 奈良山恵津子  
☎ 0797-32-9976

# 令和2年度・3年度 クラブ実績

- ◆バトントワリング部 令和2年11月  
バトントワリング関西大会「金賞」受賞  
※ 全国大会出場でコロナ禍の為、動画配信に変更
- ◆レスリング部 令和3年4月  
JOC ジュニアオリンピックカップレスリング選手権  
46kg 3位 小幡未羽・49kg 優勝 原田 渚  
61kg 優勝 池畑菜々  
7月開催予定の世界選手権に日本代表として出場。
- 【令和3年度 兵庫県総合体育大会】
- ◆ダンス部  
2位 「人間賛歌」  
～Message from Chaplin～
- ◆サッカー部  
3位 近畿大会出場
- ◆女子卓球部  
学校対抗 5位 近畿大会出場  
シングルス 山田涼菜・大場ひなた・田中羅愛  
ベスト16 近畿大会出場  
ダブルス 大場ひなた・岸本花音 組ベスト8 近畿大会出場  
山田涼菜・田中羅愛 組 ベスト16 近畿大会出場
- ◆女子硬式テニス部  
学校対抗 5位  
シングルス 政本結菜・溝邊真央 ベスト16  
ダブルス 溝邊真央・政本結菜 組 ベスト8
- ◆レスリング部  
(女子の部) 47kg級 1位 小幡未羽 2位 井本あいこ  
50kg級 1位 原田 渚 2位 矢野楓奈  
53kg級 1位 河村小町 2位 光谷真都  
57kg級 1位 田島星里  
62kg級 1位 池畑菜々  
(男子の部) フリースタイル51kg 1位 杉林 弾  
グレコローマンスタイル51kg 1位 杉林 弾
- ◆ボクシング部  
バンタム級 3位 中山武琉  
ライト級 3位 古谷悠人  
ライトウェルター級 2位 丸岡輝斗



## 【文化部】

- ◆放送部  
第68回 NHK 杯全国高校放送コンテスト兵庫県大会予選  
令和3年6月 朗読B部門 佳作 白土亮平

**60歳から始めよう!!** あなたの想いを本にしてみませんか?

句集、詩集、エッセイ、  
自分史、記念誌、  
写真集、画集、作品集など

宝塚精工会館特別委員会

**5びっと**

〒661-0978 尼崎市久々町四丁目11番11-907号  
電話: 06-6426-9170 FAX: 06-6426-8677

URL: <https://www.i-rabbit.net/>  
E-mail: [info@i-rabbit.net](mailto:info@i-rabbit.net)

## 令和3年度 翠鸞会本部役員(期・旧姓)

- 名誉会長 廣瀬 忠子 (高女4期・山田)
- 会長 猿丸 宏子 (高校16期・桜井)
- 副会長 小林 純子 (高校18期・井阪)
- 総務 小藪 信子 (高校21期・前田)
- 総務 村上 初枝 (高校21期・富永)
- 総務 児玉 弥恵子 (高校27期・野村)
- 総務 大塚 順子 (高校27期・細野)
- 会計 奈良山 恵津子 (高校34期・奈良山)
- 会計 柴山 真理子 (高校36期・小田)
- 監査 竹内 良子 (高校12期)
- 監査 新村 光栄 (高校12期・杵田)
- 東京支部長 柳 恵子 (高校18期・三浦) あしの葉会

【編集後記】コロナ禍の中、翠鸞会だよりをお届け出来たことを喜んでおります。会員の皆様の想い出話を提供していただいたお陰で素晴らしい会報誌が出来ましたことを感謝しています。これからも魅力ある会報誌をお届け出来ます様、皆様からの記事を募集しておりますので翠鸞会役員までご連絡下さい。お待ちしております。 総務部一同